



**BETSUDAI
CHALLENGE
2021**

別大チャレンジ 4000人完走目指す

リモート大会開幕

別府大分毎日マラソンリモート大会「別大チャレンジ2021」（毎日新聞社など主催）が30日、始まった。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、2021年2月から22年2月6日に延期となった第70回別府大分毎日マラソン大会（大分市、大分県別府市）の代替イベント。2月28日までの期間中、事前にエントリーした約4000人が全国各地で42・195キロの完走を目指す。

な時間に、何回に分けても42・195キロ以上を走り切れば「完走」とする。エントリーは既に締め切っている。

大会のモデルコースとなっている大分市神崎の別大国道沿いの歩道では30日、大会公式Tシャツを着たランナーが走って汗を流した。県職員の高沢直樹さん（29）は「3時間を切るタイムを目指して完走したい」と意欲を見せていた。

【出来祥寿】

★数独は「株」の登録商標です
Koli.co.jp ©登録商標です
U7MAMA

6	5	2	9	1	7	4	8	3
4	3	8	6	2	5	1	9	7
1	7	9	4	3	8	6	2	5
7	6	5	1	4	9	2	3	8
2	1	3	5	8	6	9	7	4
9	8	4	2	7	3	5	6	1
3	4	1	7	9	2	8	5	6
8	9	6	3	5	4	7	1	2
5	2	7	8	6	1	3	4	9

毎日切り貼り「数独ノート」
毎日新聞販売店で好評発売中

問題は3面に掲載

20210131毎日新聞朝刊対社会面

別大チャレンジ2021開幕

「リモートでも楽しみたい」



別大チャレンジ公式Tシャツを着てモデルコースを走る参加者

別府大分毎日マラソンリモート大会「別大チャレンジ2021」が30日、開幕した。大会のモデルコースに設定されている大分市生石港町―別府市浜協間の別大国道沿いの歩道（約7キロ）では、参加者たちが「別大の風」を感じながら駆け抜け、心地よい汗を流した。

別大チャレンジは、延期となった第70回別府大分毎日マラソン大会の代替イベント。スマートフォン専用アプリを使って、距離と時間を計測し42・195キロ以上を走ることが目指す。大会には、国内に住所がある20歳以上の約4000人がエントリーし、そのうち県在住者は326人。別大の地元ということもあり、参加者数は都

道府県別で東京都、福岡県に次いで3番目に多い。エントリーはすでに締め切っている。大会初日の30日は、早速多くの市民ランナーが挑戦。大分市京が丘の会社員、渡辺幸雄（46）さんは「参加資格の記録がなくリアルな別大に出場したことがないので、リモート大会で「別大」を楽しみたい」。友人と2人で走っていた北九州市戸畑区中原西の会社員、山田淳司さん（48）は「今日で一気に42・195キロを走りきりたい」と意気込んだ。

別府市田の湯町の会社員、太田武志さん（54）は14日に仲間と一緒に走る予定で、この日はその予行演習。「リモート大会でも走る目標ができてうれしい。頑張って完走目指します」と笑顔を見せた。

【出来祥寿】

20210131毎日新聞朝刊大分面

(C)THE MAINICHI NEWSPARERS All right reserved